

平成29年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第2日目

1 招集年月日 平成29年9月13日

1 招集場所 勝浦町議会議場

1 開閉日時及び宣告

開議 9月13日 午前9時00分 議長 節 公 一

散会 9月13日 午後5時04分 議長 節 公 一

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	仙才守	2番	松下一一
3番	美馬友子	4番	麻植秀樹
5番	松田貴志	6番	節公一
7番	国清一治	8番	森本守
9番	井出美智子	10番	大西一司

○欠席議員（0名）

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	中田丑五郎	副町長	藪下武史
教育長	椎野和幸	企画総務課長	山田徹
税務課長	久木喜仁	税務課係長	多田忍
税務課主事	福井直子	建設課長	柳澤裕之
教育委員会事務局長	笹山芳宏	教育委員会事務局次長	正瑞美佳子
教育委員会事務局係長	松田悦昭	地方創生推進室長	石木正昭
簡易水道対策室長	松本博文		

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 河野稔彦

1 議事日程（第2号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 認定第1号 平成28年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第2まで（第2号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時00分 開議

○議長（節 公一君） 皆さんおはようございます。

ただいまから平成29年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（節 公一君） 日程第1，諸般の報告を議題とします。

国清議員から遅刻の申し出が出ていますので，ご報告しておきます。

次に，法第121条第1項の規定により，説明者として出席を求めたのは，中田町長，藪下副町長，ほか関係課長でございますが，税務課の担当者も説明として上がってらっております，ご了承ください。

~~~~~

○議長（節 公一君） それでは，日程第2，認定第1号，平成28年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

昨日に引き続き，担当課長に説明を求めます。

税務課関連の詳細説明を求めます。

久木税務課長。

○税務課長（久木喜仁君） おはようございます。

それでは，税務課関係の説明をさせていただきたいと思いますが，私のほうで全てを把握できていない部分もございますので，担当のほうに出席をお願いしてございます。多田係長と福井主事でございます。どうかよろしくお願ひします。

お手元の資料ですけれども，決算書のほかに主要事項説明書，それから主要事項説明書資料，それと資料番号を振ってあります1番から5番をお手元に配ってございます。

それで，説明する資料のほうでご説明をさせていただきたいと思います。

出のほうで主に大きなもの，変わったものについて説明させていただきたいと思ひます。

まず，一般会計の説明書資料の1ページをごらんください。

この見方ですけれども，目名等説明の下の税務総務費P9，10と書いてあるんですけども，これが主要事項説明書のページを書いています。金額につきましては，決

算額については円単位、それから予算額と財源につきましては1,000円単位というふうになっておりますので、ご注意をお願いしたいと思います。

それでは、説明させていただきます。

2款3項1目、説明番号が20001の税務総務費でございます。本年度決算額が394万5,456円、前年から比べますと288万2,435円の増となっております。これの主な要因としまして、13の1の電算補修業務委託料259万2,000円がふえております。これにつきましては、税情報のサポート保守料でございますけれども、以前までは総務課のほうで計上しておりましたけれども、それを28年度から税務課のほうで計上したということでございます。それから、財源につきましては、督促手数料ほか、ここに書いてあるとおりでございます。

次、2ページをおあけください。

2, 3, 2の説明番号20002です。賦課徴収費、本年決算額が1,489万2,678円で106万8,296円の増となっております。これの主な要因としまして、その下にある13の133番、固定資産宅地評価業務委託料、決算額が242万1,360円で194万7,240円の増となっております。これにつきましては、ここに書いてありますとおり、固定資産税の評価による鑑定評価業務ということで、平成30年に控えております評価がえ、これに伴う鑑定事務あるいは準備ということになっております。

それから、その下の19の134、滞納整理機構の事務負担金60万8,000円でございます。これは、ちなみに資料1を見ていただいて、この滞納整理機構でのお願いしての徴収の実績の表をつくらせていただいております。資料番号1をあけてください。平成26年度から28年度に滞納整理機構にお願いした徴収者の徴収状況をあらわしたものです。見方としまして、平成26年度で申しますと、6人の方をお願いしてございます。引受額がごらんとおりの額となっております、その人の徴収をお願いしたんですけども、徴収額が本税の6万円とか14万4,400円とかということでございます。その右の欄が未納額、処分の方法です、自主納付。自主納付と言いながら、当然交渉しながらの話ですけども、4番の方については、年金のほうから納めていただいております、それから6番の方には、生命保険のほうの解約をしていただいたということでございます。26年度のこの6名の方の徴収率は53.1%というふうになっております。以下27年、28年と同様の見方になっておりますので、また後ほどごらんになっていただ

けたらと思います。

それから、先ほどの続きですけれども、収入額、この財源としまして14, 3, 1, 1の個人県民税の事務委託料、委託金でございます、731万6,490円になっております。これの算式につきましては、主に納税義務者に3,000円を掛けまして、さらに4分の1を掛けた額というふうになっております。これは決められた算式でございます。

次に行きます。

3, 1, 1, 説明番号が20003, 国保会計の繰出金でございます。4,092万8,026円, 134万1,489円の増というふうになっております。この内訳としまして、基盤安定で3,357万7,000円, 財政安定のほうで651万1,000円, 出産一時金で84万円というふうになっております。それに対します財源としまして、下にあるとおり、国、県のほうからの負担金をいただいておりますというふうな数字になっております。

次に行きます。

3, 1, 5 後期高齢者医療費 1億3,663万587円で135万5,805円の増というふうになっております。これにつきましては、下にあるとおり主に療養給付費の負担金9,758万6,135円, 133万2,802円の増というふうになっております。

それと、大きなのがその一番下の28の7でございますが、後期高齢者医療特別会計の安定繰出金です、3,291万6,618円というふうになっております。財源としまして、下にあるとおり、14, 1, 1, 3から下にあります負担金を国、県のほうからいただいておりますというふうなことでございます。

この下は飛ばさせてもらいます。

最後といいますかA3のやつを折って書いてありますけれども、これが一応一般会計での入から見た一覧表となっております。上から町税、使用料、国庫支出金、県支出金と一般会計での入の一覧を書いておりまして、それぞれこのほうに財源を充当しておるかという一覧をつけておりますので、またこれも参考にさせていただけたらと思います。

それと、資料5、これは多分きょう追加したと思うんですけれども、一応28年度の税の徴収率をそれぞれの税目ごとにグラフ化させまして、資料としてつけさせておりますので、後ほどまた見ていただけたらというふうに思います。

以上、一般会計につきましては以上でございます。

続きまして、そのまま国保もええんだらう。

○議長（節 公一君） 国保もええけど、説明のときに款項目の数字は要らん。

○税務課長（久木喜仁君） わかりました。

それでは、国保会計のほうを同じように主要事項説明書資料に基づきまして、説明させていただきたいと思います。

1 ページ目をおあげください。

一般管理費、決算額が341万2,620円で、前年から14万1,854円の増というふうになっております。これにつきましては、臨時賃金が主なものとなっております。

それから、その下のほうで連合会負担金139万2,240円、前年とほぼ同じというふうになっております。この詳細につきましては、説明に書いてあるとおりでございます。

その下ですけども、賦課徴収費134万3,396円の決算に対しまして、前年比54万81円の増というふうになっております。主なものは時間外というふうになっております。

次のページをおあげください。

2 ページですけども、これにつきましては納税奨励金、滞納処分費、運営協議会につきましては、額が小さいので省かせていただきます。

次の説明の2, 1, 1, 21006の一般被保険者療養給付費3億5,908万4,813円で3,837万8,999円の減というふうになっております。これにつきましては、きれいな分析というものはしておりませんが、恐らく平成27年度の医療費が高かったのも、それに対する比較ということでこうなっておるのかなと思います。

歳入につきましては、下にありますとおり、療養給付費の負担金から一般被保険者第三者納付金までごらんのとおりの数字となっております。国、県からの補助金が1億2,777万4,000円、その他1億3,358万6,000円で、一般財源としまして9,772万5,000円というふうになっております。

それから、3 ページですけども、退職被保険者療養給付費、決算額2,430万9,678円、278万8,259円の増というふうになっております。歳入としましては、下にありますとおり、療養給付費の負担金の現年分でございます。その下ですけども、一般被保険者療養費624万8,588円、84万2,999円の増というふうになっております。これにつきましても、財源につきましては下にありますとおり、歳入の療養給付費の負

担金から下の雑入までというふうになっております。

その下ですけれども、退職被保険者療養費も小さいので額は飛ばさせていただきます。

次のページをあおってください。

審査手数料139万325円というふうになっております。診療報酬支払基金のほうに手数料として支払っておるということでございます。

その下ですけれども、一般被保険者高額療養費5,249万5,056円、805万3,020円の減額というふうになっております。

資料の2をごらんください。

ここに書いてありますとおり、資料2のほうの上のほうの①です。ここに大きな減額になった理由を書いてございます。年間の医療費が5,000万円ほど減っております。ただ、平均の一般被保険者数につきましては横ばいということです。これの大きな要因としまして、入院の件数が100件ほど減っておる、外来のほうにつきましては数%減っておって、ほぼ横ばいというふうになっておりまして、ここらあたりの原因かなというふうなことで、ざっくりした分析でございすけれども、資料としてつけさせていただきますので、また見ておいていただいたらと思います。

それから、次のページ5ページですけれども、葬祭費、それからその下の出産一時金168万円、出産一時金42万円掛ける4件でございす。

それから、手数料につきましては飛ばさせていただきます。

次のページですけれども、後期高齢者の支援金7,044万7,280円、82万4,760円の減額となっております。その財源としましては、下にありますとおり、療養給付費の負担金から現年度分までの収入、県、国からの補助金とその他の財源となっております。

あと、次の次も飛ばさせていただきます。

ずっと行きますと7ページの2行目の介護納付金2,816万8円、236万1,369円の減となっております。財源としましては、ここにありますとおりの科目の国庫あるいは県の交付金となっております。

それから、その下ですけれども、共同事業の拠出金でございす、1,464万6,896円、526万4,735円の減というふうになっております。これの原因につきましても、先ほど見ていただいた資料の2の②のところにかかせていただいておりますので、見ていただいたらわかると思いますけれども、28年度の拠出金がダウンした原因というのは、

ここに書いてあるとおりになっております。Bのところの5,100万2,733円、27年度に對しまして28年度が3,443万7,121円に減額されたのが大きな要因であろうというふうにざっくりした分析をしております。またもとに戻っていただいて、その歳入としましては、ここに書かれておるとおりでございます。

次のページですけれども、一番上を飛ばしまして、共同安定化事業の拠出金1億6,460万8,370円、873万2,315円の増となっております。財源としましては、全額保険財政共同安定化事業交付金のほうからの財源としております。

それから、9ページのほうに参ります。

独自事業関係ですけれども、疾病予防費319万890円、ほぼ横ばいというふうになっております。主な歳出としましては、成人病の健診委託料140万100円というふうになっております。これにつきましては、右に書いてあるとおりに脳ドック委託料の3万5,000円から39名というふうになっております。

その下ですけれども、特定健康診査等事業費636万4,569円で103万3,340円の増というふうになっております。主なものとしまして、検査委託料254万340円というふうになっております。これにつきましても、資料2のほうに実績を掲げてありますので、また見ていただけたらと思います。それから、特定健診等負担金が317万3,090円、65万5,630円の増額というふうになっております。下に財源が書かれてありますのでごらんください。

それから、次のページですけれども、10ページですけれども、ほぼ上の3つは額が小さいので飛ばします。一番下の償還金です、118万967円というふうになっております。前年度比から1,072万9,725円の減額というふうになっておりまして、これにつきましては前年度の決算額、27年度の決算額が26年度の精算がおろされたものがここに1,191万円と来ておりますので、こういうふうな数字になっておることです。

11ページ、上2つ飛ばします。直営診療施設勘定繰出金、勝浦病院の特別会計の繰出金でございます、101万4,000円、730万4,000円の減額というふうになっておりまして、平成27年度にはレントゲン設備関係の額が大きかったというふうには聞いております。財源といたしましては、次のところに書いてあるとおりで。

次の下も額が小さいので飛ばさせていただきます。

それで、あと参考資料としまして、うちの28年度の国保会計への決算状況であるな



り歳入歳出の項目の概要説明を一応ここにずらっと書かさせていただいておりますので、またごらんになっていただけたらと思います。それから、あと特定健診とかの受診率につきましても、一応参考にここに掲げさせていただいております。

それから次、最後ですけれども、後期高齢者のほうの説明、これも資料に基づいて説明させていただきます。

1 ページをおあげください。

一般管理費としまして122万4,082円、昨年とほぼ同額です。主なものとしまして、13の電算補修業務委託料です、88万502円というふうになっております。この財源としまして、主には事務費の一般会計からの繰入金というふうになっております。

その次の2つは飛ばさせていただきます。

最後のページの一番上でございます。後期高齢者医療広域連合納付金8,386万68円、574万2,716円の増というふうになっております。財源としましては、一番上にあります特別徴収保険料から一番下の前年度繰越金というところまでの財源になっております。下の3つについては少額でございますので省略させていただきたいと思っております。

以上、説明とします。

○議長（笹 公一君） 以上で税務課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩とします。

午前9時23分 休憩

午前10時35分 再開

○議長（笹 公一君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

教育委員会関連の詳細説明を求めます。

笹山教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（笹山芳宏君） 失礼します。

それでは、教育委員会関係の歳入歳出決算についてご説明をさせていただきます。

お手元の平成28年度一般会計歳入歳出決算主要事項説明書資料に基づきまして、ご説明をいたします。

1 ページ目をお開きください。

企画費、決算額282万4,804円、全額一般財源を充当しております。主な内容は、阿

南方面通学車両運行費補助金259万2,924円と3件ございました奨学金返済助成金12万4,000円です。

次、2ページをお開きください。

教育委員会費、決算額471万5,908円です。財源としましては、特定財源、その他で306万2,000円を充当し、その内訳は民話集等の書籍の販売代金2,000円と奨学資金貸付金元金償還金が306万円です。残りの165万3,908円は一般財源を充当しております。

教育委員会の運営費につきましては、教育委員の報酬等で81万5,000円でございます。

町の育英奨学金の貸付金の決算額につきましては368万円です。この内訳は、奨学金の貸付金が288万円、それから入学資金の貸付金が80万円です。奨学金につきましては、対象者は8名で、内訳は継続6名と新規の方が2名です。次に、入学資金の貸付金につきましては、新規の方2名でした。

3ページは、教育委員会の開催回数と勝浦中学校卒業生の進路状況を掲載しております。

4ページです。

事務局費、決算額9,548万6,828円です。全て一般財源です。支出先は、教育長初め、教育委員会事務局の職員等の給料関係でございます。

続きまして、5ページ、義務教育振興費でございます。決算額は1,590万3,147円です。財源内訳としまして、国庫支出金が就学援助補助金として5万3,000円、その他19万6,820円です。その他の内訳は、日本スポーツ振興センター保護者負担金が13万2,020円、ラインネット使用保護者負担金が6万4,800円でございます。

消耗品費414万4,502円で中学校の教科書改訂に係る教科書指導書の購入費用を含んでおります。

それから、手数料119万2,820円は、児童・生徒、教職員の健診料ほかに支出をしております。

6ページをお開きください。

102万8,000円、小・中体育振興及び文化振興補助金等です。それから、要保護、準要保護児童・生徒就学援助補助費331万6,643円を支出しております。

7ページは、児童・生徒数の状況、教職員の状況を載せております。

8ページです。

学校管理費、決算額3,554万8,159円です。財源の内訳として、国庫支出金425万5,000円、その他16万2,773円、残りの3,113万386円は一般財源でございます。小学校管理費の消耗品費274万5,472円は、教授用印刷用環境整備等消耗品費でございます。それから、光熱水費445万8,258円は、電気、LPガス、水道料などでございます。それから、教材設備等の修繕やスクールバスの整備を108万8,031円支出しております。児童通学輸送委託料282万4,200円は、スクールバスの運転業務の委託料です。それから、工事請負費1,632万1,810円、内容は26ページをお開きいただいて、工事等を実施状況をごらんください。

元にお戻りいただきまして、備品の購入費410万7,298円の決算でございます。これも事業の内容につきましては、27ページの備品購入状況に記載しております。

9ページ、学校管理費の中学校管理費でございます。

決算額1,444万1,241円です。財源内訳としまして、国庫支出金が20万円で、その他16万2,989円。その内訳としましては、20万円が理科教育の設備整備費等の補助金です、それからその他分は太陽光発電の売電収入でございます。消耗品費199万9,689円は、教授用印刷用環境整備等の消耗品代でございます。光熱水費314万6,776円は、電気、LPガス、水道料です。設計監理委託料103万6,800円、武道場のつり天井補強工事の設計業務にかかった支出でございます。勝浦中学校創立50周年の記念誌を作成する業務委託料として、68万8,500円を支出しました。500部を作成し、現在120部が残っている状況でございます。それから、工事請負費2,857万7,004円は、会議室のブラインド設置と武道場つり天井補強工事代金でございます。備品購入費279万3,794円、これも詳細は27ページをご参照いただければと思います。

続きまして、10ページ、社会教育総務費、決算額1,003万251円です。こちらの財源の内訳は、県支出金が34万9,000円、その他収入が3万7,876円、964万3,375円が一般財源です。社会教育振補助金126万5,000円、こちらは婦人会、青年会、文化協会等の団体への補助金でございます。

それから、社会教育振興負担金125万8,271円です。青少年健全育成センターの委託事務の負担金でございます。

11ページ，外国語指導助手配置事業でございます，この事業の決算額は468万9,563円です。外国人ALTの雇用に係る支出でございます。

その下の欄，伝統芸能保護事業，決算額63万2,998円です。勝浦座と今山農村舞台保存会への補助金，こども阿波人形芝居教室開催等の支出でございます。

12ページは割愛し，13ページ，社会体育費の決算額1,025万3,575円です。この財源は，その他財源で119万1,100円です。資料の右側のほうに掲載しております各体育館，テニスコート，それから夜間照明等の使用料を充当しております。残りの906万2,475円は一般財源でございます。町民体育大会実施事業の委託料として200万円，町民体育館の施設管理委託料569万1,600円，これは指定管理ということで，ともにK-F r i e n d sに委託料として支払っております。

14ページでございます，各施設の利用状況を載せております。

15ページは割愛で，16ページでございます。

図書館費，決算額が1,178万4,881円でございます。この財源は，全て一般財源です。大きな支出としましては，臨時雇い賃金に425万5,778円の支出，消耗品費103万6,115円は雑誌等の購入費でございます。

備品購入費201万2,132円です。児童・一般図書，それからDVDの購入費に充てております。

17ページには，図書館の事業報告として，図書館で行いました資料展示等も含め，取り組みの状況を載せております。それから，18ページは図書館図書の貸し出し等利用状況の推移を掲載しております。また，19ページは現在の図書の蔵書の現況を載せております。

20ページ，運動公園の管理費でございます。決算額は132万9,286円です。一般財源を充当しております。大きな支出としましては，施設管理委託料84万1,020円で，シルバー人材センターに委託をしております。

続いて，21ページ，人権啓発推進費，決算額が223万8,760円です。財源として35万1,000円を人権啓発活動の地方委託金として県からいただいております。残り188万7,760円は，一般財源を充当しています。事業は，人権啓発推進費として183万3,600円を支出しています。人権啓発活動の地方委託事業としては40万5,160円の支出です。人権啓発推進費のほうは，町人権，郡人権，教育推進協議会等への負担金補助

金でございます。委託事業のほうは、社会総合大学と町人権の補助金も含め、講演会等も開催しております。昨年度は、花田恵子さんの講演会を農村環境改善センターで開催いたしました。

22ページでございます。給食総務費、決算額1,155万6,938円です。財源でその他321万3,000円の特定財源がございますが、これは公共用施設維持基金からの繰入金で充当しています。残り834万3,938円は一般財源からの充当でございます。工事請負費262万9,800円は、給食センターのボイラーの更新を行いました。備品購入費106万452円、これは球根皮むき器等の購入費でございます。

23ページ、調理加工費、決算額2,190万6,104円です。特定財源として、その他2,137万3,529円、これは児童・生徒の給食費の納付金でございます。食料費として、給食用食材の購入費として2,133万9,125円を支出しております。関連の資料としまして、24ページには、調理加工費、食材の調達状況を記載しております。また、25ページには、給食数と給食費の状況を載せております。

26ページは、教育委員会関連の工事等実施状況、27ページには、備品購入状況を掲載しております。

以上、教育委員会の詳細説明を終わらせていただきます。

○議長（筈 公一君） 以上で教育委員会関連の詳細説明は終了しました。

議事日程の都合により、休憩をいたします。

午前10時54分 休憩

午後1時30分 再開

○議長（筈 公一君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

建設課関連の詳細説明を求めます。

柳澤建設課長。

○建設課長（柳澤裕之君） それでは、平成28年度一般会計歳入歳出決算主要事項の説明をいたします。

先ほど私が拡大版をお渡しいたしました説明資料において説明をさせていただきます。

まず、1枚おめくり願いまして、説明の仕方といたしましては、左から例えば企画費と申します、それで真ん中のAのところの事業費までということで、支出決算額を

申しまして、財源内訳についてはもう左にありますけども、これは同じもんもあるし、それから県費とか国費とかがありますが、これも省略させてもらってもよろしいですか。それでAの事業の総額を言いまして、右の支出決算のAのうちの主要な事項ということで書いてございますが、その中で100万円以上をまずは説明を読み上げさせていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、まず1ページ目、企画費、決算額が1,817万6,840円、主要な内訳といたしましては、上から15の1の工事請負費でかつうら創生の宅地造成工事で637万4,160円、次にその下のそれに伴います下水道管の敷設工事でございます。次のその下の用地買収といたしまして、宅地の造成工事に必要な用地買収として2件ございまして253万2,700円、それともう一件ございまして205万1,100円になっております。その下に立木補償ということで、宅地造成事業の立木等の補償ということで414万7,302円ということになっております。これにつきましては、立木、いわゆる柿とかみかんとか以外に小さい家屋がありましたので、その補償も含んでおります。

次に、環境総務費、総額が2億4,997万9,000円でございます。これは、簡易水道の特別会計への繰出金ということでございます。

続きますして、広域農道事業費でございます。総額が609万3,460円、その中で100万円以上の物件といたしましては、広域農道の負担金として593万5,600円、これは広域農道の事業費の負担金でございまして10%でございます。ということで、事業費といたしましては5,935万6,000円ということになりました。

続きますして、農免農道の事業でございます。総額が306万5,500円、それで大きいのが農免農道の負担金でございます。農免農道の負担金が301万円、負担率が8.6%ということで、事業費が3,500万円でございます。

続きますして、国道調査事業費、総額が2,883万7,804円ということで、大きいのが臨時賃金で141万5,200円でございます。次に、下に行きまして、地籍調査の業務の委託料でございます。28年度の地籍調査坂本の3地区でございます。契約額が2,289万6,000円でございます。その下の中山7地区といたしまして194万4,000円、これにつきましては、さきに申します坂本2地区につきましては、前半工程と申しまして、境界立会とか境界の測量というふうな業務でございます。また、中山7地区におきましては、後半工程でございまして、地籍図の作成とか、それから地籍簿の作成ということ

で、閲覧の準備という業務でございます。

次、めくっていただきます。

次、めくっていただきまして、県単土地改良事業費ということで、総額が299万8,080円でございます。これにつきましては、県単土地改良事業の棚野地区ののり面整形工事ということで、契約額が299万8,080円でございます。これは、農免農道ののり面の一部が崩壊しましたところ、のり面の保護が必要だということで、県単事業で対応しております。

次に、治山事業でございます。総額が867万9,880円でございます。中で大きいのが工事請負費で、治山事業立川地区道路改良工事でございます、総額が569万8,080円でございます。もう一つ県単治山事業立川地区改良工事260万6,040円でございます。この事業につきまして、さきに言うたのが569万8,080円の物件につきましては、山腹崩壊におきまして、町道の橋梁が壊れてしまったので、それでボックスカルバートによる橋梁復旧というふうな工事費でございます。それで、260万6,040円におきましては、その山腹崩壊において町道とか河川が埋まって埋没してしまいましたので、それに対する護岸復旧の工事費でございます。

次に、その下の県単林道事業でございます。総額が311万5,480円。中で大きいのが県単林道の立川相生線でございます。金額が172万9,080円で舗装工事でございます。延長が45.5メートルで、舗装面積が236平米となっております。

次に、土木総務費でございます。土木総務費の中で大きいのが臨時賃金ということで207万6,194円でございます。次、ずっと下がりにまして、システム更新料でございます。これは、法定外公共物の管理システムの機械の移行に伴いまして、システムを改築しております、それに187万7,040円必要でありました。

次のページをお願いいたします。

次のページで道路橋梁維持費ということで、総額が3,628万5,452円でございます。その中で大きいのが上から行きますと、賃金、人夫賃でございます、それで231万4,414円、これは道路工夫さん1人の賃金でございます。続きまして、その下の凍結防止材とか事務用品ほかということで、トータルといたしまして126万7,821円でございます。ずっと下がりにまして業務委託料。業務委託料というのは、土砂の取り除けとかそれから倒木の処理というふうな科目でございます。総額が324万6,480円ござい

まして、そのうちの一番大きいのが横瀬与川内線の倒木の処理ということで122万400円でございます。

そして、工事請負費といたしましては、総額が2,682万5,860円でございます。維持補修工事といたしまして、44件の物件を発注しております。3ページの下から4ページの中腹までの分の物件で44件を発注しております。

続きまして、4ページの下の方です。町道の道路改良費ということで、総額が2,623万9,700円ということでございます。それで、工事請負費として2,499万9,840円でございます。5ページの上段にもまたがりますが、20件の工事を発注しております。

続きまして、5ページをお願いいたします。

5ページの県単道路改良費ということで、総額が1,009万8,766円でございます。その中で大きいのが測量の設計の委託料ということで、沼江バイパス関連の残土処理の補償物件の調査費でございます。残土処理場の予定地に工作物、いわゆる小屋とか水槽とかがありますので、その調査をいたしました。この金額につきましては177万1,200円でございます。この下で沼江バイパス関連の残土処理場の測量調査業務ということで496万8,000円でございます。この業務は、残土処理場の調査におきましては、平成25年には用地の境界の立ち会いは終えております。それで、このたびは地形測量をいたしまして、この土捨て場の計画の概要をお示しできる業務でございます。

次に、その下、道路の整備の所管の負担金ということで191万2,500円、これにつきましては、県が行います県道の改良工事の県単分の負担金でございます。負担率が15%でございます。ということで、逆算しますと、事業費としては1,275万円というふうになります。

その下の道路改良費でございます。総額が4,778万6,269円でございます。その中で大きいのが総額が2,289万6,000円の中の勝浦町の橋梁点検の業務でございます。1,717万2,000円でございます。これにつきましては、2メートル以上の橋梁につきましては、5年にいっぺんは点検をしなければならないということで法律が決まりました。それで、勝浦町におきましては、平成26年から進めております。26年から始めておりまして、26年には3橋、27年には47橋、28年には74橋ということで逐次進めてお



ります。ちなみに、2メートル以上の橋梁につきましては、勝浦町では243橋ございます。

その下です、与川内市ノ江橋の耐震化と補修の調査業務でございます。それに572万4,000円の委託料でございます。これにつきましては、市ノ江橋の耐震化とそれと長寿命化における補修の設計業務でございます。

続きまして、工事請負費で、総額が2,253万6,360円でございます。石原家台中山線改良工事の2ということで、平成27年度から家台中山線の工事を着手しております、その残りの部分の工事でございます、契約額は1,003万4,280円でございます。それと、次にその(2)で路床工が終わりましたので、続いて舗装工事を行いました。それが石原家台中山線舗装工事でございます、契約額が1,174万6,080円でございます。それと、その家台中山線のところに谷川がございまして、その部分で畑総管の移設がございました。それで、石原家台中山線の畑総管移設工事といたしまして75万6,000円を発注しております。また、その下の補償物件といたしまして、石原家台中山線改良工事に伴う工作物の補償ということで219万5,640円を支出しております。これは、沼江の石原の圃場整備の水利組合がございまして、その間を先ほど申した畑総管等の移設に併設しておりましたので、その分については管理が違いますので、補償として対応いたしました。

続きまして、河川維持費でございます。総額が866万1,392円、その中で大きいのが人夫賃でございます。河川の草刈り賃でございます、総額が352万5,016円でございます。その下に行きまして、業務委託料で総額が365万9,880円、これは河川で土砂が堆積しておる部分につきましてしゅんせつをするということで、その費用を充てております。その中で大きいのが石原谷川土砂の取り除け業務ということで114万2,856円でございます。これは、ナカテツの第2工場の裏に大原谷川という河川がございまして、その土砂がかなりの量がナカテツの裏に流れ込んでいたというふうな状況でございます。この下の下の121万8,240円につきましては、今山谷川のしゅんせつ業務の委託料ということになっております。ほかについては逐次しゅんせつをやっております。

続きまして、急傾斜地崩壊対策事業の事業費でございます。総額が500万円でございます。これは、県単独砂防事業の負担金でございます、事業費の10%でございます。

す。それにつきましては500万円を徳島県に支払ってございます。事業費といたしましては10%ということで5,000万円でございます。

続きまして、一般住宅でございます。総額が183万1,000円でございます。それは100万円超えとんのがありませんが、いわゆる耐震化の補助とか空き家の除去とかというふうな形の事業でございます。今回におきましては住みかえで2件、それから耐震シェルターが1件ということでございます。

続きまして、6分の6ページ、最後のページになります。

これが町単公共土木施設の災害復旧費ということで、総額が399万2,760円でございます。これで委託料でございます。委託料の総額が286万2,000円、それで土木災害測量設計委託業務ということで156万6,000円を発注しております。発注物件につきましては、6件ほどの業務をお願いしております。

次に、28年度の災害復旧の棚野立川線の測量設計委託業務ということで、1件で129万6,000円でございます。これにつきましては、業務的にかなり高度な技術が要るということで、金額は高うございます。工事費につきましては100万円以上の物件はございません。

次に下に行きます、公共土木災害復旧事業費ということで、総額が4,943万6,284円でございます。その中で測量委託料ということで、総額が199万8,000円でございます。その中で大きいのが土木災害測量設計委託業務ということで今山西谷前田線他ということで124万2,000円でございます。それで、工事費におきましては、総額が4,732万9,920円でございます。全部で13件でございます。内訳といたしましては、河川が1件と道路が12件でございます。

次に、農業施設災害復旧費でございます。総額が1,007万6,400円、工事請負費といたしまして、総額が914万7,600円、これは4件の採択があり、4件の発注をしております。4件の内訳につきましては、道路が2件と水路が2件でございます。

次に、林道災害復旧事業費ということで、総額が672万6,240円でございます。その中で工事費が総額が561万6,000円でございます。婆羅尾岩屋線の林道施設の災害復旧工事でございます。1号箇所と2号箇所でございます。1号箇所におきましては399万6,000円でございます。2号箇所におきましては162万円でございます。

以上が一般会計の平成28年度分ということで説明をいたしました。

続きまして、繰り越しの説明をいたします。

繰り越しのペーパーにつきましては、1枚でございますので、お手元で1枚めくっていただきたいなと思います。

まず、県単道路改良費ということで、総額が754万4,860円でございます。測量委託料といたしまして、沼江バイパスの残土処理の調査業務ということで291万6,000円でございます。それと次に、工事請負費といたしまして、総額が282万960円、これは、新浜勝浦線中山工区関連工事といたしまして129万6,000円、それと平成28年度町単中山梶谷線舗装工事といたしまして152万4,960円でございます。

次に、用地買収費といたしまして180万7,900円で、町道の中山梶谷線改良工事に必要な用地買収費ということで支出をしております。

そして、その下は道路改良費でございます、総額が432万円でございます。工事請負費といたしまして432万円で、せせらぎ橋の補修工事ということで432万円でございます。これにつきましては、長寿命化に伴います補修工事でございます。

以上で建設課部門の説明を終わりたいと思います。

○議長（笹 公一君） 続いて、簡易水道も。

○簡易水道対策室長（松本博文君） 平成28年度勝浦町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の詳細説明につきまして、配付させていただいております平成28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算主要事項説明書及び同じ表題の後ろに資料とつきましたものにつきまして、歳出の金額が100万円以上の科目について報告をさせていただきたいと思います。

説明書を6枚めくっていただき、歳出の9分の1ページをごらんください。

科目の名称、それと支出命令額の累計Cの金額を申し上げます。

資料9分の1ページの下の方でございます。光熱水費……。

説明書でございます、説明書を6枚めくっていただいて、歳出の9分の1ページです。その科目の名称と支出命令額の累計（C）の金額を申し上げます。資料の下の方でございます。

光熱水費254万4,703円、これは水道施設の電気代でございます。続いて、その下の修繕費448万1,557円、これは水道施設の小規模修繕費用となっております。

次のページをごらんください。

固定資産台帳整備業務委託料112万3,200円、これは公会計制度に伴う台帳整備の費用でございます。

続いて、その下の経営認可書類作成等委託料887万4,360円、これは水道業法に基づく事業統合及び中横浄水方法の変更に伴う業務でございます。

次のページをごらんください。

工事請負費1,581万9,840円、これは資料の4ページをごらんください。後ろに資料と書かれた書類の4ページをごらんください。

この資料4ページ、右側のとおりでございます。

続いて、その下で消費税99万4,700円、これは水道料金に係る消費税でございます。

次のページをごらんください。

中ほどです、水質検査業務委託料、716万761円、これは水道法に基づく水質検査の費用でございます。

○10番（大西一司君） 　どこ。

○簡易水道対策室長（松本博文君） 　9分の4ページです、9分の4ページをごらんください。中ごろです。

水質検査業務委託料716万761円、水道法に基づく水質検査の費用でございます。

続きまして、9分の5ページをお開きください。

設計委託料263万5,200円、資料の6ページをごらんください。これは、川北簡易水道整備事業施工管理業務とその下にあります補助申請実績報告書等の作成業務費用となっております。

続きまして、説明書のほうをごらんください。

中ほどにあります工事請負費2,762万4,240円、これについても資料の6ページをごらんください。主な実施内容といたしまして、川北簡易水道並松地区水道管布設がえ工事の費用となっております。

続いて、説明書の6ページをごらんください。

中ほど、設計等委託料586万1,160円、それとその下の工事請負費4,312万7,640円、これは資料の7ページをごらんください。主な施工内容といたしまして、与川内簡易水道浄水施設更新工事と与川内簡易水道浄水施設更新設計業務及び浄水施設更新工事

施工監理業務の費用となっております。

続いて、9分の7ページをお開きください、説明書の9分の7ページをごらんください。

一番上にあります設計等委託料1,536万8,400円、それと工事請負費4,691万5,200円、これは資料の8ページをごらんください。主な実施内容といたしまして、棚野久国簡水久国地区水道管布設がえ工事、棚野久国簡水久国地区排水管改良事業実施設計業務、棚野久国簡水久国地区水道管布設がえ工事施工監理業務及びに棚野久国簡易水道事業交付金実績報告書作成業務の費用となっております。

説明書の9分の7ページをごらんください。

中ほどにあります設計委託料649万800円と一番下にあります工事請負費1億260万円、つきましては資料の9ページをごらんください。主な実施内容といたしまして、勝浦町簡易水道遠隔監視システム整備事業工事と勝浦町簡易水道遠隔監視システム整備事業実施設計業務、勝浦町簡易水道遠隔監視システム整備事業工事施工監理業務の費用となっております。

続いて、説明書の9分の8ページをごらんください。

下のほうにあります工事請負費340万円、これは資料の10ページをごらんください。主な施工内容といたしまして、中山横瀬浄水施設建物修繕工事の前払い金の費用となっております。

続いて、説明書の9分の9ページをお開きください。

元金償還金1,428万1,822円は資料11ページのとおりでございます。

続きまして、説明書の9分の9ページで利子償還金631万9,079円、資料の12ページのとおりとなっております。

以上が平成28年度勝浦町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の説明でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（笹 公一君） 以上で建設課関連の詳細説明は終わりました。

議事日程の都合により、休憩とします。

午後2時04分 休憩

午後3時15分 再開

○議長（笹 公一君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

企画総務課，議会事務局関連について詳細説明を求めます。

山田企画総務課長。

○企画総務課長（山田 徹君） それでは初めに，議会事務局一般会計の平成28年度決算状況について，お手元の資料によりまして説明をさせていただきます。

歳入につきましては，議会はございませんので，歳出のみのご説明となります。お手元にあります決算説明資料に基づいてご説明をさせていただきたいと思っておりますので，お手元にご準備いただきお開きいただけたらと思っております。

まず，1ページあけていただきまして，歳出の議会費の分でございます。

1款1項1目の議会費で大まかな部分についての説明をさせていただくようになろうかと思っております。

まず，議会費でございますが，支出済額が5,011万2,080円の決算でございます。主な大きなものとしたしましては，9番の旅費でございます。この中で大きなものとして，普通旅費，所管事項調査が72万5,510円，議会広報委員会が39万4,680円が主な支出となっております。あと，大きなものとしたしまして，14の使用料，こちらのほうにつきましては，視察研修バスの借り上げ料あたりが10月，7月，5月に出張された場合の借り上げ料が大きなものとなっております。

続きまして，次のページ2ページをお開きください。

こちらのほうが2款7項1目の監査委員費になります。こちらのほうにつきましては，支出済額決算額が129万8,423円となっております。こちらの中で大きなものとしては，監査委員報酬が主なものとなっております。

議会事務局関連の詳細説明については以上でございます。

それでは，引き続きまして一般会計の企画総務課関連分の詳細説明をさせていただきます。

まず最初に，一般会計の繰越明許費について説明をさせていただきたいと思っております。

お手元の説明書資料により説明させていただきますので，説明書資料のほうをご準備いただけたらと思っております。

歳入の一般財源につきましては，繰越金だけでございます。特定財源につきましては，資料の歳出とあわせてご説明をさせていただきたいと思っておりますので，よろしくお

願いをいたします。

説明書資料の1ページをお開きください。

まず、総務管理費でございます。総務管理費の事業名といたしまして、ホストコンピューター管理、これと情報通信ということで、庁内公共施設ネットワークの事業を行っております。こちらにつきましては、ホストコンピューターの管理が475万2,000円となっております。こちらにつきましては主なものといたしましては、住宅管理システムの更新業務、こちらのほうが345万6,000円というふうなことでございまして、こちらのほうは、新しいシステムを入れかえたために発生したものでございます。

次の情報通信ネットワーク情報通信事業でございますが、こちらのほうにつきましては、決算額が1,242万円というふうなことでございまして、こちらのほうは、財源といたしまして、右上のほうにも書いてございますが、地方公共団体情報セキュリティ強化対策補助金545万円と補正予算債を540万円を利用いたしております。こちらにつきましては、自治体情報セキュリティ強化個人番号利用事務ネットワークの再構築業務の委託となっております。こちらのほうについては、基幹系の業務の個人番号を付加してセキュリティを強化するためのものでございます。

続きまして、非常備消防費の中の消防事業でございます。こちらのほうは、備品購入費ということで170万6,400円の決算額となっております。財源内訳といたしましては、進化する「とくしまゼロ作戦」緊急対策事業補助金は県の補助金でございますが、こちらの85万3,000円を利用してございます。内容といたしましては、備蓄倉庫の購入でございます。

繰越明許費については以上でございます。

続きまして、一般会計の平成28年度決算状況についてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、一般財源に充てられる歳入について、こちらのほうは主要事項説明書のほうで説明をさせていただきます。

まず、主要事項説明書の1ページをお開きください。主要事項説明書のほうです。

こちらのほうは、歳入のみ主要事項説明書を使ってご説明させていただいて、歳出につきましては、説明書資料のほうで説明をさせていただこうと思っておりますので

よろしくお願いたします。

それでは、主要事項説明書の1ページをお開きください。

こちらのほうで、一般財源でございますが、2款の地方譲与税、説明の1になりますが、地方揮発油譲与税、こちらのほうが収入決算額といたしまして1,356万5,000円の収入となっております。

続きまして、2款2項の自動車重量譲与税でございます。こちらのほうが3,287万9,000円の収入額となっております。

続きまして、3款利子割交付金でございます。こちらのほうが47万5,000円の決算額となっております。

続きまして、ページを1枚めくっていただきまして2ページ目となります、4款の配当割交付金でございます。こちらのほうは343万2,000円の収入額となっております。

続きまして、5款株式等譲渡所得割交付金でございます。こちらのほうが決算額が211万4,000円ということになっております。

続きまして、6款地方消費税交付金、こちらのほうが8,679万円の収入となっております。

続きまして、7款自動車取得税交付金でございます。こちらが733万7,000円の収入となっております。

続きまして、8款地方特例交付金、3ページほうになります。こちらのほうが102万9,000円の収入額となっております。

続きまして、9款地方交付税でございますが、こちらのほうは説明1の普通交付金が15億2,814万3,000円の収入額でございます。説明の2の特別交付税が1億8,667万9,000円の収入済額となっております。

あと、こっから後ろにつきましては特定財源になりますので、一般財源の収入につきましては、以上のとおりでございます。

続きまして、歳出に入っておりますが、特定財源の歳入につきましては、歳出に合わせてご説明をさせていただきます。

説明書の資料を次にご準備いただいて、お開きいただければと思います。説明書資料のほうでご説明をいたします。



説明書資料の1ページをお開きください。

まず、総務管理費でございます。こちらのほうの事業ごとに説明を追って説明させていただきたいと思いますが、この総務管理費に対しての特定財源でございますが、こちらは右端のほうの事業の内容欄に記載をさせていただいております。徳島滞納整理機構負担金、社会保障番号システム整備費の補助金、コピー用紙の売り払い代、市町村振興協会市町村交付金、アカデミー研修助成金、これらをこの科目の中では特定財源として収入をいたしております。

事業ごとに説明をさせていただきます。

次が研修事業でございます。10001番の研修事業でございます。こちらのほうは職員等の研修に係る負担金等の事業でございます。決算額といたしましては、47万1,163円となっております。

○議長（節 公一君） 100万円以上の分だけで。

○企画総務課長（山田 徹君） 決算額のなんで円なんで、47万1,163円。

○議長（節 公一君） 100万円以上のを主に。

○企画総務課長（山田 徹君） そうしたら、100万円以上あります事業だけを拾い上げてのご説明をさせていただきます。

一番下のほうの10004のHOSTコンピュータ管理事業でございます。こちらの中では、決算額が1,349万2,027円でございます。主な事業といたしましては、社会保障番号制度システムの改修対応業務委託が主なものとなっております。こちらのほうが1,139万8,320円でございます。

次のページをお開きいただきまして、2ページになります。

情報通信庁内公共施設ネットワーク事業でございます。こちらのほうで主なものといたしましては、13の11電算保守業務委託料、こちらのほうが499万9,978円となっております。これは、システム強靱化向上のインターネット接続の事業が主なものでございます。今の主な事業につきましては、統合型LGWAN保守と庁内LANシステムの保守が主なものでございます。

次の22番のシステム更新委託料2,127万6,000円、こちらのほうが主なものとしては、システム強靱化向上インターネット接続事業となっております。

あとその下の最後のほうの欄になりますが806万円、セキュリティークラウド構築

費用負担金、こちらが349万1,282円となっております。

続きまして、3ページになります。

職員管理費管理事業でございます。職員管理事業の中では、特別職、一般職員の給料が主なものとはなっておりますが、それ以外で大きな変化のあるものというふうなところで、13の11電算保守業務委託、こちらのほうが人事給与システムのソフトウェアの保守業務でございまして121万4,676円となっております。あと、69番の町人事評価制度業務委託、こちらのほうが人事評価制度の研修とアドバイス業務の委託で162万円ということになっております。

続きまして、4ページをお開きください。

総務管理事業でございます。こちらのほうで大きなものとなりますが、11の2の消耗品費323万860円でございます。こちらのほうは事務機器の用品、コピー機のチャージ料等が入っております。あと、6番光熱水費でございますが、こちらのほうは電気代、LPガス代金となっております。12の1の通信運搬費663万7,976円でございますが、こちらは郵送料等になっております。あと、13の54でございますが、例規検索システムの更新料、こちらのほうが251万352円というふうなこととなっております。それと、18の1の備品購入費でございますが、こちらのほうは勝浦町の例規集の新しく新規につくり直しております。その費用が主なもので209万3,040円というふうなことになっております。

続きまして、5ページのほうになります。

5ページの財政管理事業でございます。こちらでは13の11の電算保守業務委託でございますが、こちらが104万9,760円でございます。あと12番でバランスシートの作成業務委託でございますが、こちらが198万7,200円となっております。

457番、これは新規で新しいものでございますが、業務委託料ということで、公共施設等総合管理計画の作成業務委託を行っております。こちらのほうが274万5,360円でございます。

続きまして、6ページのほうになります。

こちらのほうは、庁舎管理事業でございます。こちらのほうで主なものといまして、15の1の工事請負費でございます。こちらのほうが153万5,255円となっておりますが、主なものとしては役場議場の放送機器類の移転工事が85万円程度、温水器の

切りかえ等が45万円程度でなっております。

続きまして、7ページでございます。

7ページの諸費の地区統合補助金等の事業でございます。こちらのほうにつきましては、主なものとして地区運営統合補助金、16地区の統合補助金でございますが390万6,400円となっております。次の64番が集会所維持補修補助金、こちらのほうが114万4,876円でございます。こちらのほうは、棚野地区、中角地区、久国地区に交付をいたしております。

特定目的基金の事業につきましては、利子の積立分のみでございます。

次のページ8ページでございますが、こちらの財政調整基金事業につきましても、利子の積立分のみでございます。

続きまして、情報通信設備管理費の地域情報基盤設備事業でございますが、こちらのほうでは13の14保守点検委託料が1,389万9,785円となっております。主なものとしたしましては、地域公共ネットワーク設備機器の保守が216万5,000円、光ファイバー心線及び伝送設備等の保守運用業務が870万円程度、鳥獣被害の対策の張りかえが290万円程度の内訳となっております。

あと18の1で備品購入費でございます。こちらのほうが761万4,000円でございます。こちらは、光電変換装置が100台とV o I Pのルーターの修繕用の予備機、これが50台というふうなことでございます。

続きまして、9ページでございます。

企画費のご説明になります。まず、大きなものとしたしまして、定住促進事業、こちらの中では19の67定住促進賃貸住宅家賃助成費でございます。こちらのほうが208万1,000円、実世帯として14世帯の助成を行っております。

続きまして、企画総務事業でございます。こちらのほうでは13の457業務委託で129万6,000円となっております。主なものとしたしましては、勝浦町P R動画作成業務が108万円、勝浦町ポータルサイトの更新が21万円程度でございます。

あと19の93で勝浦町杉の子支援事業補助金100万円でございます。こちらのほうについては、29年度へ2件ほど明許繰越をいたしておりますので、1件分の決算となっております。

続きまして、コミュニティー企画費でございます。こちらのほうは19の69でコミュニ

ニティー補助金690万円の支出でございます。こちらのほうは、棚野地区、掛谷地区、石原地区、中角地区で交付となっております。

次のページをお開きください。

地方創生関連事業、企画総務課分でございます。

こちらのほうでは、13の457番で業務委託料766万3,200円を支出いたしております。事業の内容といたしましては、救急救命業務操業準備事業委託料が500万円、同人材育成事業が100万円、地域活性化アドバイザー委託が108万円というふうな主な事業としてはそういうふうなものとなっております。こちらのほうにつきましては、地方創生加速化交付金と推進交付金、それと過疎債、市町村振興協会の助成金が特定財源として充当いたしております。

次、11ページでございます。

地方創生関連事業の勝浦病院分でございます。こちらのほうについては、13の457で業務委託料593万8,675円でございますが、こちらのほうはみずから考える基金の分を一部充当をいたしております。

それと、25の8で勝浦病院改築事業基金への積み立てとして1億円を積み立てをいたしております。

次のページ12ページになります。

これは、非常備消防費の項目でございます。まず、救急事業でございますが、こちらにつきましては、7の1で臨時雇い賃金が1,662万637円、こちらのほうにつきましては電源立地地域対策交付金のほうを440万円を特定財源として使用いたしております。

あと消防事業でございます。消防事業のほうでは、13ページになりますけれども、13の4設計監理委託料が253万9,000円となっております。これの内訳といたしましては、石原地区、坂本地区の防火水槽の測量設計、6分団の詰所の新築工事の設計監理料等となっております。坂本地区の防火水槽の分につきましては、一部を平成29年度へ繰り越しをいたしております。

次、13の14で保守点検の委託料でございます。こちらの216万円の支出につきましては、防災行政無線の保守点検業務の委託料でございます。

13の457の業務委託料でございますが、こちらのほうで163万2,960円の支出をいた

しております。内訳といたしましては、町職員の防災訓練支援業務の委託が49万8,000円、避難所の緊急安全診断業務委託料が113万4,000円というふうなこととなっております。

続きまして、15の1工事請負費でございます。こちらのほうにつきましては、防災事業債のほうを充当をいたしております。こちらは内訳といたしましては、6分団の詰所の新築工事に3,213万円、石原地区の防火水槽に864万円、坂本地区の防火水槽の工事費に680万円ということになっております。

続きまして、17の2の用地購入費でございます。こちらが321万9,250円の支出でございますが、これは6分団の詰所新築工事に伴う用地の購入費でございます。

続きまして、18の1の備品購入費でございますが、こちらが920万4,864円、特定財源の防災債をこちらのほうも利用しております。内容といたしましては、7分団の小型動力ポンプ搭載車の購入が780万円程度となっております。

あと、100万円を超えるところでは、退職報償金の負担金、消防団の運営補助金等がございますが、こちらの消防団の運営補助金につきましては、昨年度の操法参加の年になっておりましたので、その分の80万円が増加いたしております。

説明といたしましては以上でございます。

最後になりましたが、本年度予備費を2件ほど充当をいたしております。こちらの説明をさせていただきたいと思っております。

決算書のほうをお開きいただけたらと思っております。

決算書の26ページをお開きください、よろしいでしょうか。

決算書の26ページ、2款総務費の4項戸籍住民基本台帳費、2目の住民基本台帳ネットワークシステム費、こちらのほうに予備費から63万円を充当いたしております。予算現額のちょうど真ん中ぐらいになると思うんですが、予備費支出及び流用増減という欄に63万円というふうな部分が入って記載されていると思っております。これが予備費から充当いたした分でございます。これは、住民基本台帳ネットワークの個人番号カードを交付する事業の委任の負担金でございますが、平成28年度のこの事業経費は少し過少見込みになっていたために、予備費を流用したようなこととなっております。こちらにつきましては、委託金をいただいて、そこからまた事業を負担金として納めるというふうなことになりますので、その収入額は入っていたんですが、支出額が欠

落していたというふうなことでございます。

続きまして、51ページのほうをお開きいただけたらと思います。

51ページの下のほうになりますが、11公債費、1項公債費、1目元金の欄でございます。こちらのほうも予備費から70万4,000円を充当させていただいております。こちらのほうにつきましては、予算現額の先ほどの予備費支出及び流用増減の欄に70万4,000円というふうに記載が入っていると思います。こちらにつきましては、固定金利で借入れをしておりました債務の起債の返還金でございますが、こちらが固定金利で借りますと、大体10年ぐらいで金利の変更がございます。その金利の変更の改定期によるものの把握がきちんとできておりませんで、元金と利子との割り振りが変わってございました。それで、元金のほうがふえていたんですけれども、その元金について予備費を充当したというふうなこととなっております。

詳細説明については以上でございます。

○議長（筈 公一君） 以上で企画総務課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩いたします。

午後3時44分 休憩

午後5時04分 再開

○議長（筈 公一君） 再開いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会します。

午後5時04分 散会